

今だからこそ、 美術館とホールは何ができるのか アートが人々に開かれたものでなければ ならない理由を考える

2020年、新型コロナウイルスのパンデミックにより、世界の「当たり前」が一変しました。コロナ禍によって、私たちの生活行動様式が制限された結果、今まで以上にアートへのアクセスが奪われてしまった方もたくさんいらっしゃいます。美術館やホールも、新しい生活様式を踏襲しながら、展覧会や公演を再開する一方で、オンラインを活用するなど試行錯誤をしながら社会包摂につながる活動も再開しています。

このフォーラムでは、東京都美術館、東京文化会館、東京都現代美術館の事例から、社会包摂につながるアート活動を実施していくための課題とヒント、ウィズ・コロナ社会における文化施設の使命について考えます。

- 日 時▶ 2021(令和3)年 1月26日(火)
14:00~15:30
- 対 象▶ アート・音楽関係者、アーティスト、自治体・文化行政関係者、教育・社会福祉関係者、学生、研究者など
- 料金・定員▶ 無料、100名程度(先着順、事前申込制。1月22日17:00〆切)
- 開催方法▶ オンライン(Zoom使用)
- 登壇者▶ 森 司(アーツカウンシル東京 事業推進室事業調整課長
TURNプロジェクト・ディレクター、クリエイティブ・ウェル・プロジェクト・ディレクター)
稲庭彩和子(東京都美術館 学芸員 アート・コミュニケーション係長)
郷 泰典(東京都現代美術館 事業企画課教育普及係長)
杉山幸代(東京文化会館 事業企画課事業係 包摂・連携担当係長)

- [お申込み] 専用申込みフォーム<<https://www.t-bunka.jp/applyform/8848/>>からお申込みください。1月22日(金)17:00締切。
- [お問合せ] 東京文化会館 事業係 Email onstage@t-bunka.jp
2020 on stage & legacy担当 T E L 03-3828-2111

申込フォームは



詳細ページは



主催：東京都／公益財団法人東京都歴史文化財団 東京文化会館・アーツカウンシル東京
連携：公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都美術館、東京都現代美術館
助成：一般財団法人地域創造
文化庁文化芸術振興費補助金(劇場・音楽堂等機能強化推進事業) | 独立行政法人日本芸術文化振興会

やむを得ない事情により、内容が変更になる場合がございますので予めご了承ください。
記録のための撮影および録音を行います。撮影した写真・動画は東京文化会館の報告書や広報物、SNS等で使用されます。予めご了承ください。



コロナ禍に社会包摂アート活動を考える

美術館とホールのオンライン／オフライン事例から